

別紙「評価基準」

満点100点

評価項目	評価基準	配点	
【技術点】			
1. 企画内容の評価			45
事業コンセプトとの整合性	【必須】仕様書の内容についてすべて提案しているか。	0又は5	15
	・事業の目的が達成できる提案であり、かつ、全体として無理のない実現可能な内容となっているか。	10	
企画内容の充実度	・講義の形態やカリキュラムは、受講者がサポーターとして活動するためのスキルやノウハウを習得するに必要かつ十分な内容か。	5	30
	・テキスト・学習教材等は充実しているか。分かりやすい、使いやすい工夫がなされているか。	5	
	・知見と経験を有する講師が選定されるようになっているか。サポートスタッフの適切な配置が考えられているか。	5	
	・研修後のアフターフォローやサポートは受講者に寄り添ったものになっているか。	5	
	・認定した「さがデジタルサポーター」が効果的に活動する場の提供がなされているか。	5	
	・認定した「さがデジタルサポーター」の交流機会の創出や知識のアップデートを行うための効果的な研修が提案されているか。	5	
2. 実施体制等の評価			45
研修の開催実績・知見	・過去に、国や地方公共団体等の事業として同様の人材育成の実績があるなど本事業に生かせる知見があるか。	15	15
実施主体の適格性	・事業が遂行可能な人員の確保、実施体制が確保されているか。	10	10
業務の効率化	・県や市町の事務負担の軽減に資する提案があるか。	10	10
実施体制	・斬新な工夫など特筆すべき点があり、かつ、実行可能な提案・体制となっているか。	10	10
【価格点】			
3. 経費の妥当性			10
経費の妥当性	・提案内容に対し経費の積算は妥当か。また、節減が図られているか。	10	10
合計		100	100